

今号の「和」題



旬の和歌山情報をお届けします！

WAI TOPICS 01

「蘇りの地、わかやま」キャンペーン

新型コロナウイルス感染症拡大による影響からの回復を着実なものとするため、「蘇りの地、わかやま」キャンペーンを6月から開始しています。

海・山・川などの天与の大自然に恵まれ、開放的な気持ちになれるスポットが盛りだくさんの和歌山。和歌山でひとときの息抜きを楽しむことができる特別企画をご用意しました。豊かな森林、美しい海や澄んだ川、温泉、ジオパーク、世界遺産の「熊野三山」や「高野山」などで和歌山の魅力を体感し、心も身体もリフレッシュして下さい。

第1弾として、「蘇りの地、わかやま」の魅力を発信し、和歌山県内の皆様に故郷和歌山を満喫していただいております。第2弾として、関係団体と一丸となって大々的なプロモーションを展開し、和歌山県外の皆様に和歌山の魅力を存分に味わっていただきます。そ

して、海外向けにも新型コロナウイルスの沈静化の見通しが確認された国・地域から順次、市場ごとの嗜好に応じた「Wakayama Refresh」Campaignを展開していきます。



問い合わせ／和歌山県観光振興課 電話／073-441-2775

WAI TOPICS 02

2ストーリーが日本遺産に認定！

「葛城修験」― 里人とともに守り伝える修験道はじまりの地
女性とともに今に息づく女人高野
～時を超え、時に合わせて見守り続ける癒しの聖地～



令和2年度に認定されたストーリーの一つが「葛城修験(かつらぎしゅげん)」です。修験道の開祖といわれる役行者がはじめて修行を積んだこの地は、世界遺産の吉野・大峯と並ぶ「修験の二大聖地」と称されています。根來寺などの役行者ゆかりの寺社や西国三十三所礼所としても有名な粉河寺なども含まれています。前述の大峰山が女人禁制の修行の地である一方、この地は多くの女性修験者たちも

受け入れていました。はじまりの地-「葛城修験」、修験者たちの思いとそれを受け止める地域の人々との深いつながりがありました。もう一つのストーリーは「女性とともに今に息づく女人高野」です。近代まで「女人結界」が定められ、高野山内での女性参拝はかき止めていた。そんな時代にあっても、女性たちの明日の安らぎを願う声を聴いていた「女人高野」と呼ばれる寺院があり、現代も訪れる女性たちを癒し続けています。また、世界遺産でもある高野山の麓から奥之院に続く町石道、女人堂と女人堂を繋ぐ女人道は、自然に恵まれた緑豊かな道であり、自然の癒しを愉しみ、時を超え、時に合わせて女性とともに今に息づいています。

問い合わせ／和歌山県観光振興課 電話／073-441-2424

発見!! こんなところに和歌山!? 人物編



新しく建築中の田辺市立武道館の玄関前に移転設置された植芝盛平翁の銅像は、田辺市で開催された第5回国際合気道大会(1988年)の記念として建てられたもの。

写真提供:田辺市スポーツ振興課

闘うためのものではない武道、合気道。創始者、植芝盛平の足跡を見る。

合気道とは、柔道や剣道等と並ぶ日本の代表的な武道の一つで、創始者である植芝盛平は、明治16年(1883年)田辺市に生まれた。`和合の道であり、愛の道である。という合気の理想の下に、今では140の国と地域に拠点を持つ、国際的な武道として広く知られている。また植芝盛平は青年時代、田辺在住の南方熊楠と共に`神社合祀反対運

動、に奮闘し、和歌山の森を守ったとも伝えられている。

さらに田辺市では、今年10月に竣工予定の田辺市立武道館内に、植芝盛平の偉大な足跡と功績を顕彰していくため`植芝盛平記念館、を併設する。



田辺市立武道館。10月に完成予定の。



Data ▶ 植芝盛平記念館(田辺市立武道館内)

【問い合わせ先】
田辺市スポーツ振興課
住所／田辺市上の山1-23-1
電話／0739-25-2531

左／植芝盛平記念館内部の完成予定図。植芝盛平のゆかりの品の展示だけでなく、合気道体験コーナーや植芝盛平の生涯などを知ることができる。